

2004年4月9日

各位

ニチメン・日商岩井ホールディングス株式会社
双 日 株 式 会 社

双日
ロシア極東(ハバロフスク州)で木材加工工場建設
セイホクが技術指導

双日株式会社(以下、双日)は、ロシア大手林産企業であるダリレスプロム(エリゾフ社長)、ハバロフスク州政府と合弁で、合板用単板(ベニヤ)製造事業に進出します。ロシア極東での木材加工事業分野において、単板事業は初めてのことです。

本プロジェクトは、ダリレスプロムからの原料(木材)供給、日本最大の合板メーカーであるセイホク株式会社(東京都、井上篤博社長)の技術協力および、ロシア地方州政府であるハバロフスク州政府の全面支援を得て進めます。

新設される合弁会社の概要:

資本金:	254万ドル
出資比率:	双日 51%
	ダリレスプロム 35%
	ハバロフスク州政府 14%
社長・役員:	未定
取締役会構成:	計7名(日本側4名、ロシア側3名)
本社所在地:	工場の建設予定地のハバロフスク州コムソモルスク・ナ・アムーレ(コムソモルスク)市 工場敷地は45,600平方メートルで、上屋は 14,000平方メートル 土地はリース、上屋は州政府からの現物出資
営業開始:	2005年秋頃の予定

工場の概要：

使用樹種：	唐松
年間原木投入量：	18万立方メートル
単板生産量：	9万～12万立方メートル
従業員数：	75人(3シフト)

投資・融資合わせて初期事業総額約2,384万ドル(約25億7,400万円)の事業規模となります。

双日はマネジメントと物流、ダリレスプロムは原料供給、ハバロフスク州政府は企業誘致のための各種メリットの供与、セイホクは生産技術指導と工場の加工品である単板の全量買い取りとなっており、各パートナーの役割分担は明確です。

ロシア政府は、昨年度10月より木工製品の輸出税を撤廃するなど、木材工業化に向けた各種政策を進めており、本プロジェクトは、ハバロフスク州政府のみならず、日本政府もロシア極東における日本企業の進出を歓迎しており、この事業の成功に大きな期待が寄せられています。

セイホクにとっては、初の海外プロジェクトとなり、50周年を迎える同社の歴史にとっても、日露林産業にとっても、新時代の幕開けを予感させるものです。

双日株式会社 木材部門・企画業務室長 安田悟のコメント；

「日商岩井がロシア材のトップ輸入会社であることも大きな背景で今回のプロジェクトが生まれた。ロシアの木材加工化政策を受け入れ、合板業界最大手のセイホクの技術指導を受け、是非ともこのプロジェクトを成功に導きたい。」

セイホク株式会社 代表取締役社長 井上篤博のコメント；

「ハバロフスク州政府並びにダリレスプロム社から何度も熱意ある要望を受け、日商岩井と共に決断した。当社の技術が日露林産業の経済協力に貢献できることは大変光栄なことである。セイホクグループは、唐松主体の原木と豊富なサイズの単板という二つの原料の安定的供給を受けて、合板・LVL(平行合板)の製品化を進めて行く。」

【本件に関する問い合わせ先】

ニチメン・日商岩井ホールディングス株式会社 広報部 TEL：03-5446-1061

双 日 株 式 会 社 広報部 TEL：03-5446-1061